

# 達人の神ワザ その1：簡易Ai法のスズメ！

屋根・壁の一部が乾式なら

劣化があったら



迷わず、精密診断 簡易Ai法で！

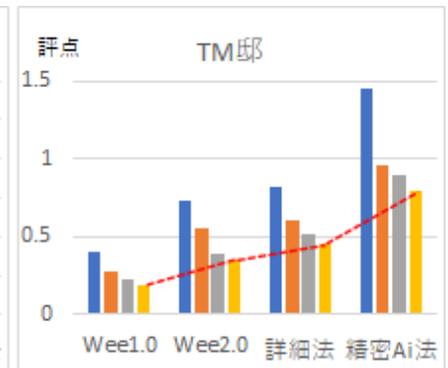
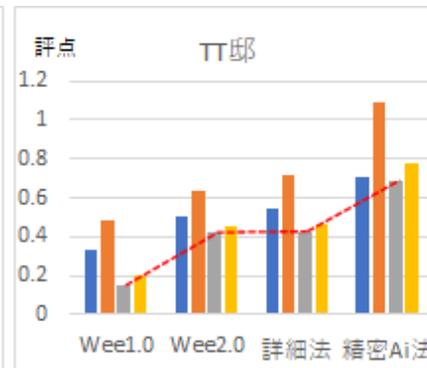
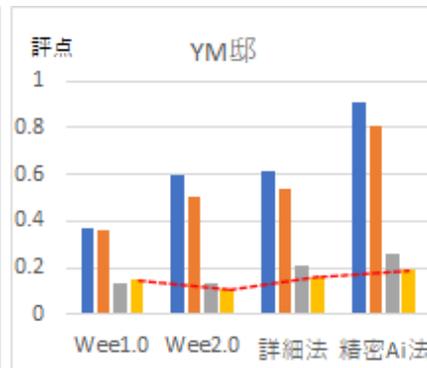
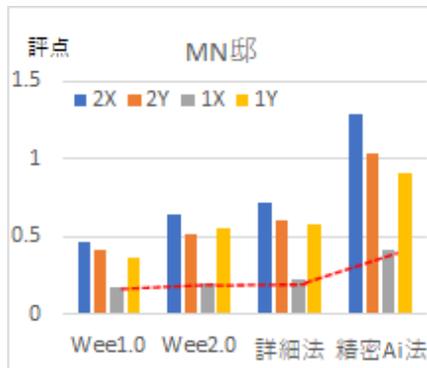
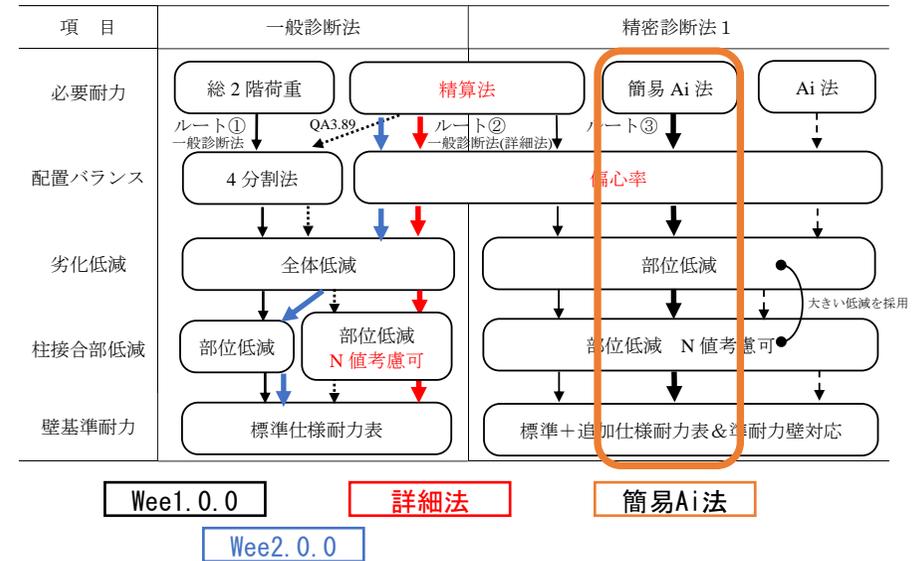
## <効果>

- 診断値が真の値に近づき、目標評点に到達しやすい  
→工事費削減
- 適格な劣化補強が直接評点につながる  
→ムダな工事はしない

## <注意>

- 精密診断で実際はすべての部位の仕様を確認できていません。工事が始まってから現状仕様が違っていた場合は、建物全体にわたり診断書から修正しましょう。
- これに備えて補強評点には余裕を見込んでおきましょう。

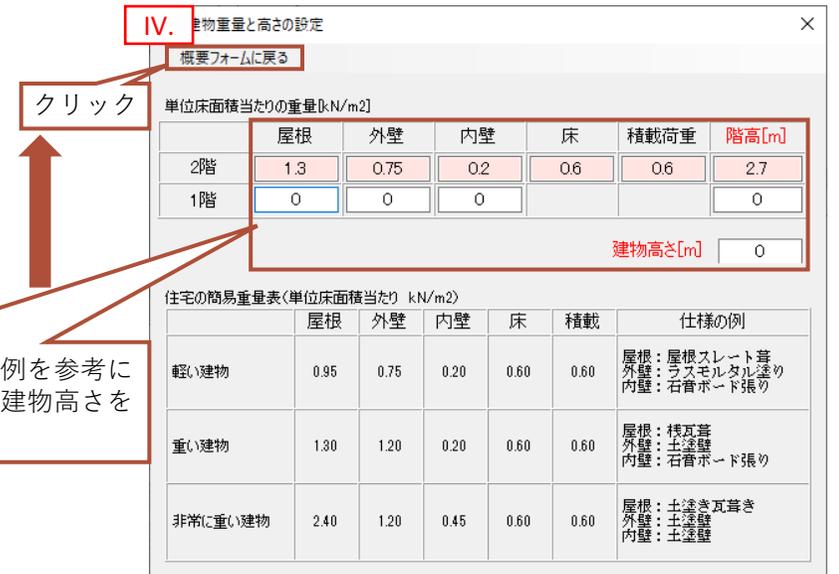
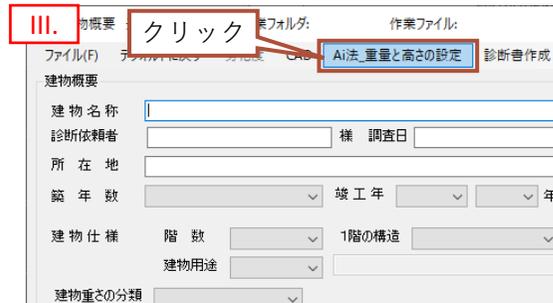
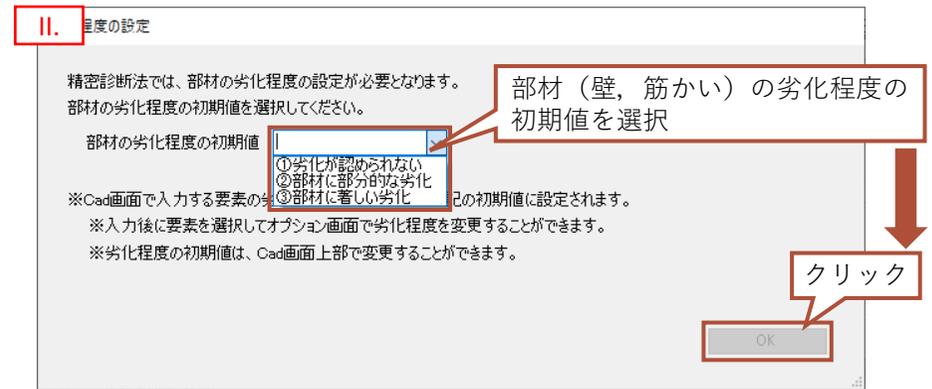
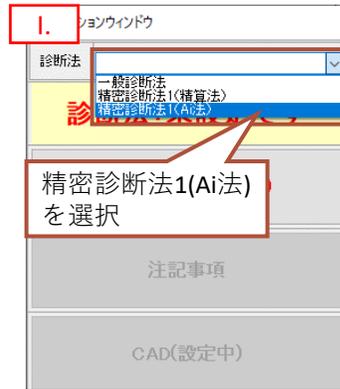
木造住宅耐震診断 計算ルート



# 簡易Ai法での単位荷重の設定方法

## 操作の流れ

- I. ナビゲーションウィンドウの診断法を選択するドロップダウンリストから、**精密診断法1(Ai法)**を選択
  - II. 劣化程度の設定ダイアログが現れる場合は、部材（壁，筋かい）の劣化程度の初期値をドロップダウンリストから選択して[OK]をクリック
  - III. 建物概要のメニューバーの「Ai法\_重量と高さの設定」をクリック
  - IV. 住宅の簡易重量表および仕様の例を参考に**各部の単位重量**を入力のうち、**階高・建物高さ**を入力<sup>\*</sup>。入力が完了したら、「概要フォームに戻る」をクリック
- <sup>\*</sup> 入力済みの項目は、背景が赤色になる



下段の住宅の簡易重量表および仕様の例を参考に各部の単位重量を入力のうち、階高と建物高さを入力（未入力：背景白，入力済：背景赤）